

工事区分表

- 印の付いたものを適用する。
- が重複する項目は、それぞれの区分が必要とする工事を自ら行う。

項目		区分		備考
名称	摘要	建築	電気	
コンクリート穴あけ	梁、壁木製型枠入	●		
"	壁スリーブ入れ	●	●	
"	床スラブ木製型枠入	●		
"	床スラブスリーブ入れ	●	●	
同上開口部補強	鉄筋切断及び補強筋入れ	●		
配管ダクト類の防水貫通部補修		●		
ALCパネルの穴あけ、補修	ダクト等の貫通部	●		
PC版の穴あけ	スリーブ入れ	●		
同上補修		●	●	
インサート	PC版	●		
インサート	コンクリート床	●	●	
天井点検口	点検口取付及び、開口部補強	●		
軽量鉄骨下地開口部墨出し	電気設備関係開口部	●		
"	機械設備関係開口部	●	●	
軽量鉄骨下地開口部補強	天井及び壁、ボード切開	●		
開口補強を必要としないボード等の切開		●	●	
特殊仕上材の天井、壁、床に取付ける器具等の穴あけ加工		●		
壁等重量物の下地補強	露出形器具取付用	●		
床点検口	点検口取付及び、開口部補強	●		
防火区画貫通部補修		●	●	
機器・配管取付後の壁、床等の補修		●		
流し台、ミニキッチン	ステンレス製（含む排水金具）	●		
本体、水切		●		
同上用配管接続	給排水用	●	●	
流し台	陶器製	●		
洗面器等取付化粧板		●		
洗面化粧台	取付け・配管接続	●	●	
多機能トイレバック	取付け・配管接続	●	●	
手摺	リハビリ用	●		
ルーフトレン		●		
堅盤	防露工事共	●		
雨水排水管	第1樹から排水幹線までの配管	●		
"	幹線の配管	●		
生活排水、実験排水管	建物及び第1樹までの配管	●	●	
"	第1樹から排水幹線までの配管	●	●	
"	幹線の配管	●	●	
大型機械基礎		●		
同上基礎上鉄骨架台		●		
機器用アンカーボルト	ボイラ等機械設備関係機器	●	●	
"	自家発電機等電気設備関係機器	●	●	
一般機器類の基礎	仕上げ共	●		
屋外自立盤の基礎	仕上げ共	●		
屋外貯油槽	地下式	●	●	
共同溝	歩床コンクリート	●		
建物、共同溝接続トレンチ		●		
同上接続部止水板		●		
各種槽類	コンクリート製	●		
"	SUS、FRP、鋼製	●	●	
"	屋外大型のもの基礎	●		
"	屋上設置のもの基礎	●		
換気扇取付	ダクトのあるもの	●		
"	壁、サッシ等への取付（材共）	●		
同上用スイッチ		●		
同上用電源配線		●		
同上用枠、取付板等	木製、アルミ製、鉄製	●		
全熱交換器		●	●	
同上用スイッチ		●		
外壁取付ガラリ	給排気用	●		
内壁取付ガラリ		●		
ガラリへの給排気		●	●	
ダクト接続		●	●	
煙感知器連動防火戸		●		
同上用レリーズ	配管配線、ボックス共	●		
同上用煙感知器	リレー及びリレーまでの配管配線共	●	●	
排煙防火ダンパー	リレー取付まで①	●	●	
煙感知器連動シャッター	リレー取付まで②	●		
煙感知器連動防煙垂れ壁	リレー取付まで③	●		
上記①～③用煙感知器	リレーまでの配管配線共	●		

項目	区分	建築	電気	機械	土木	備考
道路側溝用排水	L型・U型と管敷設	●				
制御盤	制御盤以降の配管、配線共		●	●		空調用制御盤は機械
同上用電源配線	1次側接続まで		●			
屋内消火栓	消火ポンプ、制御盤			●		
屋内消火栓起動リレー			●			
同上表示灯及び起動装置			●			
自動火災報知器			●			
連絡送水口	座板共					
独立煙突						
同上煙道	鋼板製					
同上雷保護設備						
配管配線用ビット						
盤、配管、ダクト、配線用の二重床開口	フリーアクセスフロア等	●				
コンクリートシャフト						
点検口						
天井フック						
機械室、電気室の防音遮音処理						
特殊サイズ鏡			●			
化粧用洗面器、鏡	化粧カウンターは除く			●		
雷保護設備						
保守管理用タラップ、はしご						
室内テレビ用吊金物						
テレビアンテナ	取付共					
同上用基礎						
グリストラップ及びガソリントラップ	コンクリート製 ステンレス鋼板製					
電動シャッターの配管配線	二次側。操作盤、押釦取付共					
同上用電源配線	一次側接続まで					
自動扉の配管配線	二次側		●			
同上用電源配線	一次側接続まで		●			
電気錠操作盤	読取装置共		●			
同上配管配線			●			
電気錠	配管配線、接続ボックスまで		●			
同上配管配線	操作盤～接続ボックスまで		●			
中央監視装置本体	関係機器、関係機器間配線を含む			●		
同上用電源配線	一次側接続まで			●		
同上用信号線	各メーターから装置まで			●		
ユニットバス本体	据付共					
同上用電源配線	一次側接続まで。SWの取付配線共					
同上用配管	接続まで					
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無音室等の内装	現場製作					
同上用電源配線	一次側接続まで					
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共					
同上用配管	接続まで					
冷蔵、冷凍、恒温恒湿、シールド、防音、無音室等の内装	プレハブ型					
同上用電源配線	一次側接続まで					
同上用照明・コンセント	電源配管配線、接続ボックス共					
同上用配管	接続まで					
芝生、種子吹付け						
法枠、モルタル吹付け						
コンクリート擁壁						
植栽		●				

項目	区分	建築	電気	機械	エレベーター	備考
昇降機設備本体						
同上用機械室	三方枠、同取付後の壁補修まで（トロ詰め）					
同上用監視盤	天井フック、床シンダーコンクリート、防塵塗料、搬入用等開口、換気ガラリ共					
同上換気扇取付						
機械室換気扇取付	サーモ、スイッチ共					
各種信号用制御線	停電用、火災用等					
三方枠周囲の壁仕上						
各階出入口用開口	敷居取付持出し共					
昇降路内中間ビーム設置						
ビット内防水						
動力、照明要電源、接地引き込み						
コンセント設置	ビット内、機械室内					
インターホン配線	シャフト外、監視盤～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共					
非常放送用スピーカー						
同上用配線	シャフト外、AMP～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共					
監視カメラ						
同上用配線	シャフト外、監視制御装置～制御盤 シャフト内、制御盤内接続共					
点検用タラップ	ビット内					

項目	区分	建築	電気	機械	エスカレーター	備考
搬入口、据え付け用穴明け、同復旧						
フレーム受け用枠						
吊込穴、フック、復旧工事						
転落防止柵、網、仕切り板						
三角ガード						
天井目地、床、回り仕上げ						
スプリンクラー等						
防火シャッター						
床部照明工事						
下部機械室耐火構造及び防水工事						
機械室受電盤までの動力線、電灯線、接地線の配管配線						
点検用電源の機械室までの引き込み配管配線						
シャッター及びエスカレーター電気インターロック用接点の供給及び配管配線工事（必要な場合）						
監視盤との信号用配管配線工事						

項目	区分	建築	電気	機械	エレベーター	備考
走行レール、ストッパー						
クレーン						
クレーン点検台及びはしご						
走行用給電装置						
電気工事（電源盤以降2次側）						

空調機器表

機器番号	名称 (系統)	冷房 能力 kW	暖房 能力 kW	室 外 機									室 内 機																設置場所	備 考			
				圧縮機			送風機			消費電力			台数	据付位置	備 考	機器番号	形 式	冷房 能力 kW	暖房 能力 kW	送風機				加 湿				補助 ヒーター 台数			設置場所		
				φ	V	kW	φ	V	kW	φ	V	kW								送風量 m3/h	機外静圧 Pa	電 源		A: 浸透膜 B: 超音波		kg/h	階				番号	室 名	
EHP-1-1	空冷式 マルチパッケージ型空調機 冷暖切り替え型 (1階リハビリ系統)	61.5	69.0	3	200	18.08	3	200	1.76	3	200	25.7	1	1階屋外	防振架台	EHP-1-1-1	天井カセット 4方向	9.0	10.0	1,470	-	1	200	0.106	A	A	1.2	-	5	1	101	リハビリ室	
																EHP-1-1-2	天井カセット 4方向	2.8	3.2	750	-	1	200	0.053	A	A	0.7	-	1	1	102	診察室(1)	
																EHP-1-1-3	天井カセット 4方向	2.8	3.2	750	-	1	200	0.053	A	A	0.7	-	1	1	104	多目的室	
																EHP-1-1-4	天井カセット 4方向	2.8	3.2	750	-	1	200	0.053	A	A	0.7	-	1	1	107	ST室	
																EHP-1-1-5	天井カセット 2方向	4.5	5.0	720	-	1	200	0.046	A	A	0.6	-	1	1	108	スタッフ休憩室	
ACP-1-1	空冷式 パッケージ型空調機 店舗用(ベア)	3.6	4.0	1	200	0.59	1	200	0.07	1	200	0.88	1	1階屋外	防振架台	ACP-1-1-1	天井カセット 2方向	3.6	4.0	720	-	1	200	0.046	A	A	0.6	-	1	1	103	診察室(2)	

特記事項

- 共通仕様書(平成25年版)(◎ 適用 ・ 適用外)
- 冷房能力及び暖房能力はJIS B 8616による。
- 冷媒はオゾン層破壊係数0のものとする。
- 屋外ユニットの基礎は(・ 標準基礎 ◎ 防振基礎)※防振装置はスプリング式とする。
- 電気容量は参考値とする。
- 機器付属品
・個別リモコンスイッチ
・集中リモコン(タッチパネル)
・遠方発停用端子を設置
- 室内機、室外機には防振装置を設置する。
- 室外機には高調波抑制対策ガイドラインに従い「ki値は」1.8以下とし、
超える場合はアクティブフィルターを内蔵とする。

送・排風機器表

【空調換気扇・排気ファン】

機器番号	機器名	換 気 機 器		台数	能 力						電 源			付属品(他標準品)				中央監視	設置又は据付	設 置 場 所		備 考	
		系統名			型 式	番号 #	口径 φ	風量 m3/h	静圧 Pa	交換効率 %	その他	相	電圧	kW	24時間	リモコン	フィルター			ペンチレータ	階		名 称
		階	名 称																				
HEU-1-1	空調換気扇	1F	リハビリ室	4	-	200	460	200	50	1	100	0.21							天井内	1F	リハビリ室	状態、故障を出力機能付き	
HEU-1-2	空調換気扇	1F	診察室(1)	1	-	150	90	200	50	1	100	0.09							天井内	1F	診察室(1)	状態、故障を出力機能付き	
HEU-1-3	空調換気扇	1F	診察室(2)	1	-	150	110	210	50	1	100	0.09							天井内	1F	診察室(2)	状態、故障を出力機能付き	
HEU-1-4	空調換気扇	1F	多目的室	1	-	150	90	170	50	1	100	0.09							天井内	1F	リハビリ室	状態、故障を出力機能付き	
HEU-1-5	空調換気扇	1F	ST室	1	-	150	90	190	50	1	100	0.09							天井内	1F	ST室	状態、故障を出力機能付き	
HEU-1-6	空調換気扇	1F	スタッフ休憩室	1	-	150	210	200	50	1	100	0.16							天井内	1F	スタッフ休憩室	状態、故障を出力機能付き	
FE-1-1	排気ファン	1F	倉庫兼収納	1	#1 1/4		640	170		1	100	0.07							天井内	1F	倉庫兼収納		
FE-1-2	排気ファン	1F	HWC	1	-	100	180	140		1	100	0.03							天井取付	1F	HWC		

特記事項

- 送風機(天井扇を除く)は、キャンパス継手を使用すること。
- 天吊タイプは、ゴム防振継手を使用すること。
- 集中リモコン(タッチパネル)を付属とする。

制気口リスト

制気口リスト

階	室名	系統	形式	材質		寸法		種別	吹出口	吸込口	総風量	個数	制気口ボックス			内貼	備考		
				標準	SUS	塩ビ	L						W	空気換気	SA			OA	RA
1F	診察室(2)	HEU-1-3	VHS	○		150	150	○	○		110	110	1	350	350	350	○	○	
	診察室(2)	HEU-1-3	GVS	○		150	150	○		○	110	110	1	350	350	350	○		
	倉庫兼収納	FE-1-1	GVS	○		300	300	○			640	320	2	500	500	500	○		
	多目的室	HEU-1-4	VHS	○		150	150	○	○		90	90	1	350	350	350	○	○	
	多目的室	HEU-1-4	GVS	○		150	150	○		○	90	90	1	350	350	350	○		
	リハビリ室	HEU-1-1	VHS	○		250	250	○	○		1840	230	8	450	450	400	○	○	
	リハビリ室	HEU-1-1	GVS	○		250	250	○		○	1840	230	8	450	450	400	○		
	リハビリ室	-	VHS	○		400	400		○	○	820	820	1	600	600	500	○	○	屋外より流入
	診察室(1)	HEU-1-2	VHS	○		150	150	○	○		90	90	1	350	350	350	○	○	
	診察室(1)	HEU-1-2	GVS	○		150	150	○		○	90	90	1	350	350	350	○		
	ST室	HEU-1-5	VHS	○		150	150	○	○		90	90	1	350	350	350	○	○	
	ST室	HEU-1-5	GVS	○		150	150	○		○	90	90	1	350	350	350	○		
	スタッフ休憩室	HEU-1-6	VHS	○		250	250	○	○		250	250	1	450	450	400	○	○	
	スタッフ休憩室	HEU-1-6	GVS	○		250	250	○		○	250	250	1	450	450	400	○		

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

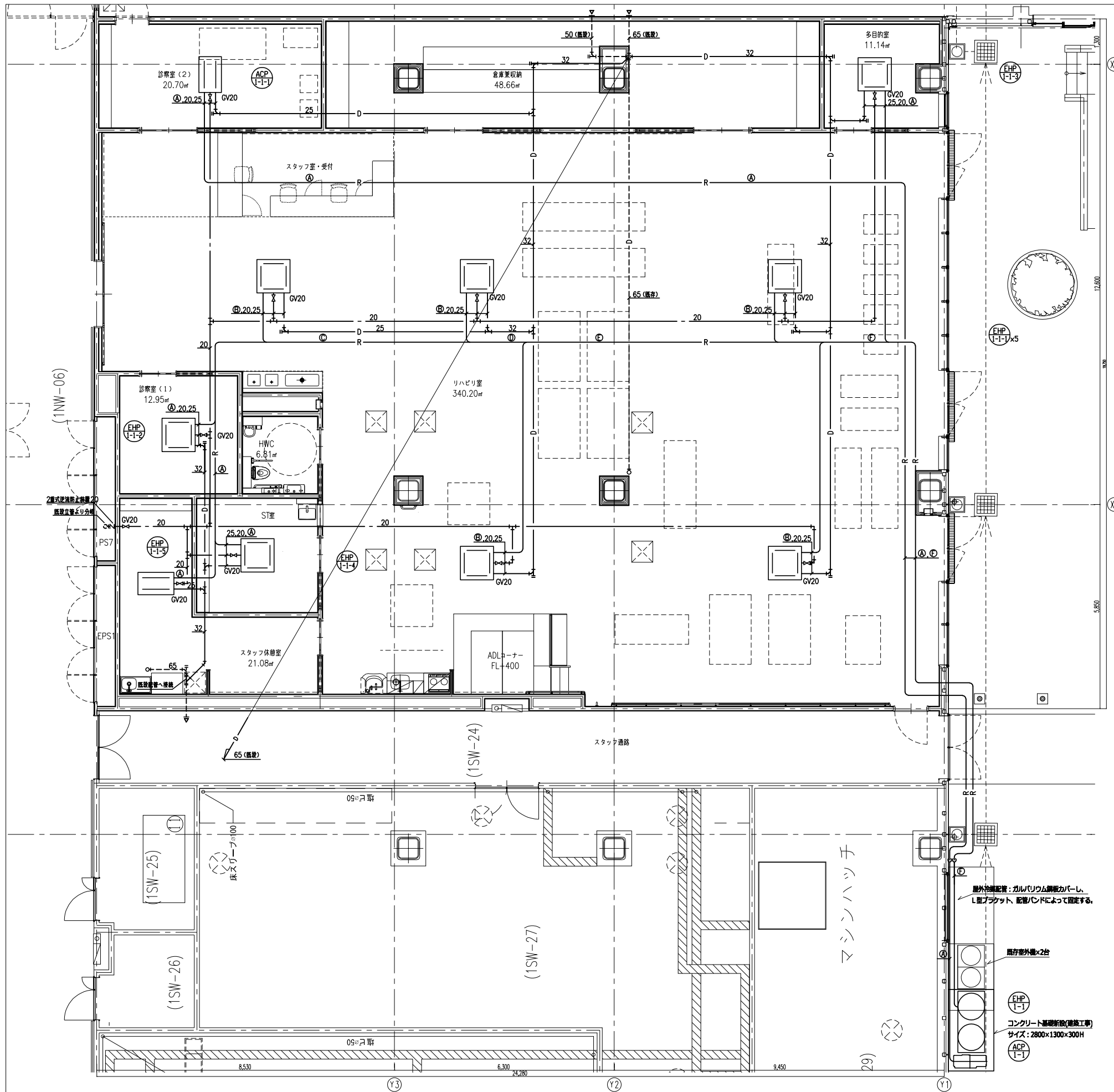
内藤建築事務所

東京都中央区八丁堀3-12-8
 一級建築士 小倉 謙二 第272507
 一級建築士事務所 東京都知事登録 第52519号

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

工事名 22 循環器・呼吸器病センター新館棟リハビリ訓練室移転改修工事 M-001

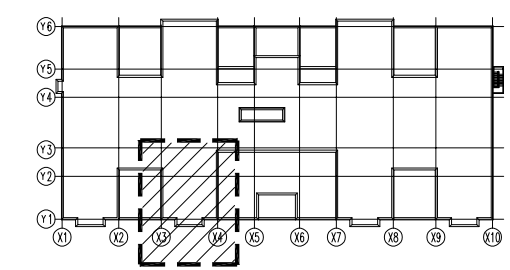
図名 空調換気設備 機器表・制気口リスト
 縮尺 A1:N.S
 A3:N.S
 図時日



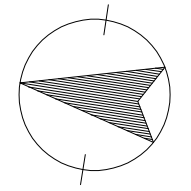
冷媒管リスト

記号	液管	ガス管	備考
Ⓐ	6.4φ	12.7φ	
Ⓑ	9.5φ	15.9φ	
Ⓒ	9.5φ	19.1φ	
Ⓓ	9.5φ	22.2φ	
Ⓔ	12.7φ	28.6φ	
Ⓕ	15.9φ	28.6φ	

注) 1.冷媒管サイズは参考とする。
2.内外機配管は冷媒管共巻とする。
(EM-CEES 1.25mm²-2C)



キープラン



屋外機配管：ガルバリウム鋼板カバー、
L型プラットフォーム、配管バンドによって固定する。

既存屋外機×2台

Ⓔ EHP
Ⓔ ACP
コンクリート基礎新設(建築工事)
サイズ：2800×1300×300H

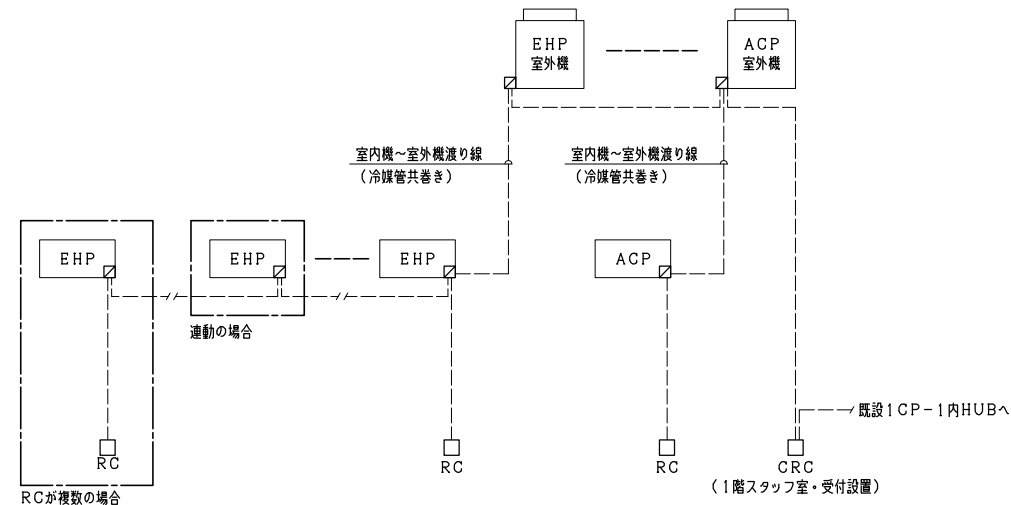
地方独立行政法人埼玉県立病院機構

株式会社 内藤建築事務所
東京都中央区八丁堀3-12-8
一級建築士 小倉 謙二 第272507
一級建築士事務所 東京事務所 電話03-5561-1108

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
工事名 22 循環器・呼吸器センター新館棟リハビリ訓練室移転改修工事
図名 空調換気設備
1階配管平面図 (冷媒・ドレン)
図号 M-003
縮尺 A1:1/60
A3:1/120
設計日

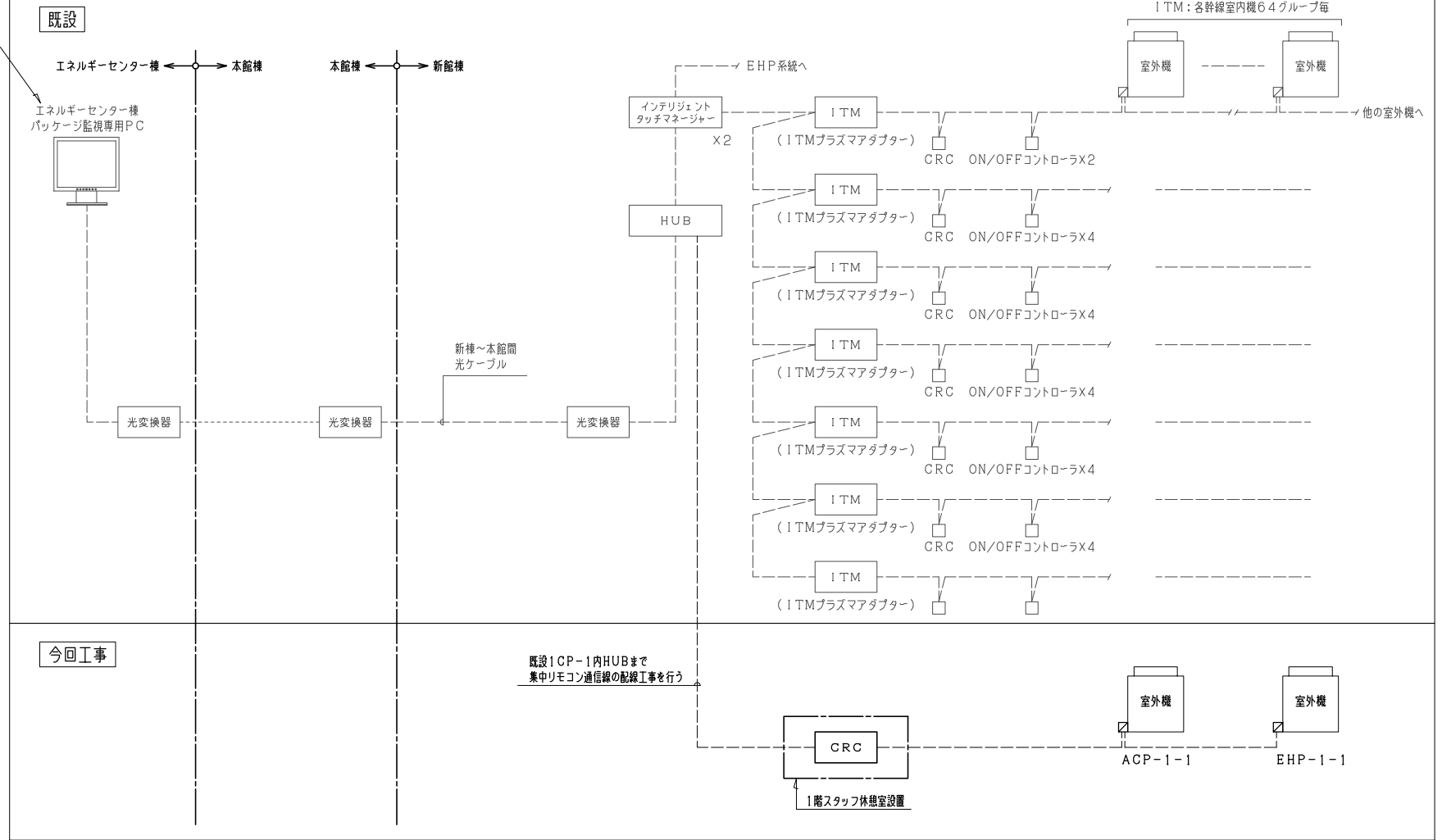
パッケージ廻り工事

- ACP-1-1/ACP-1-1-1 1階 診察室(2)
- EHP-1-1/EHP-1-1-1×5 1階 リハビリ室
- EHP-1-1-2 1階 診察室(1)
- EHP-1-1-3 1階 多目的室
- EHP-1-1-4 1階 ST室
- EHP-1-1-5 1階 スタッフ休憩室



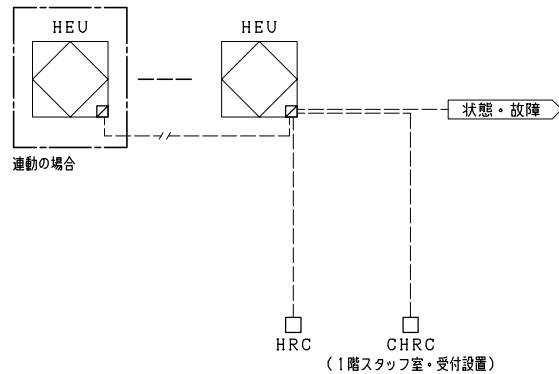
- 〈注記〉
1. 電源送りは、電気設備工事とする。
 2. RC (手元スイッチ)、CRC (集中リモコン) はパッケージ付製品とする。
 3. 室内~外機の渡り線は冷媒管共巻き工事 (自動制御設備工事外) とする。(配線配管材料も自動制御設備工事外)

〈パッケージ監視システム〉



全熱交換器廻り工事

- HEU-1-1×4 1階 リハビリ室
- HEU-1-2 1階 診察室(1)
- HEU-1-3 1階 診察室(2)
- HEU-1-4 1階 多目的室
- HEU-1-5 1階 ST室
- HEU-1-6 1階 スタッフ休憩室



- 〈注記〉
1. 全熱交換器への電源送りは、電気設備工事とする。
 2. HRC (手元スイッチ)、CHRC (集中リモコン) は、全熱交換器付属とする。

中央監視点一覧表 (既設)

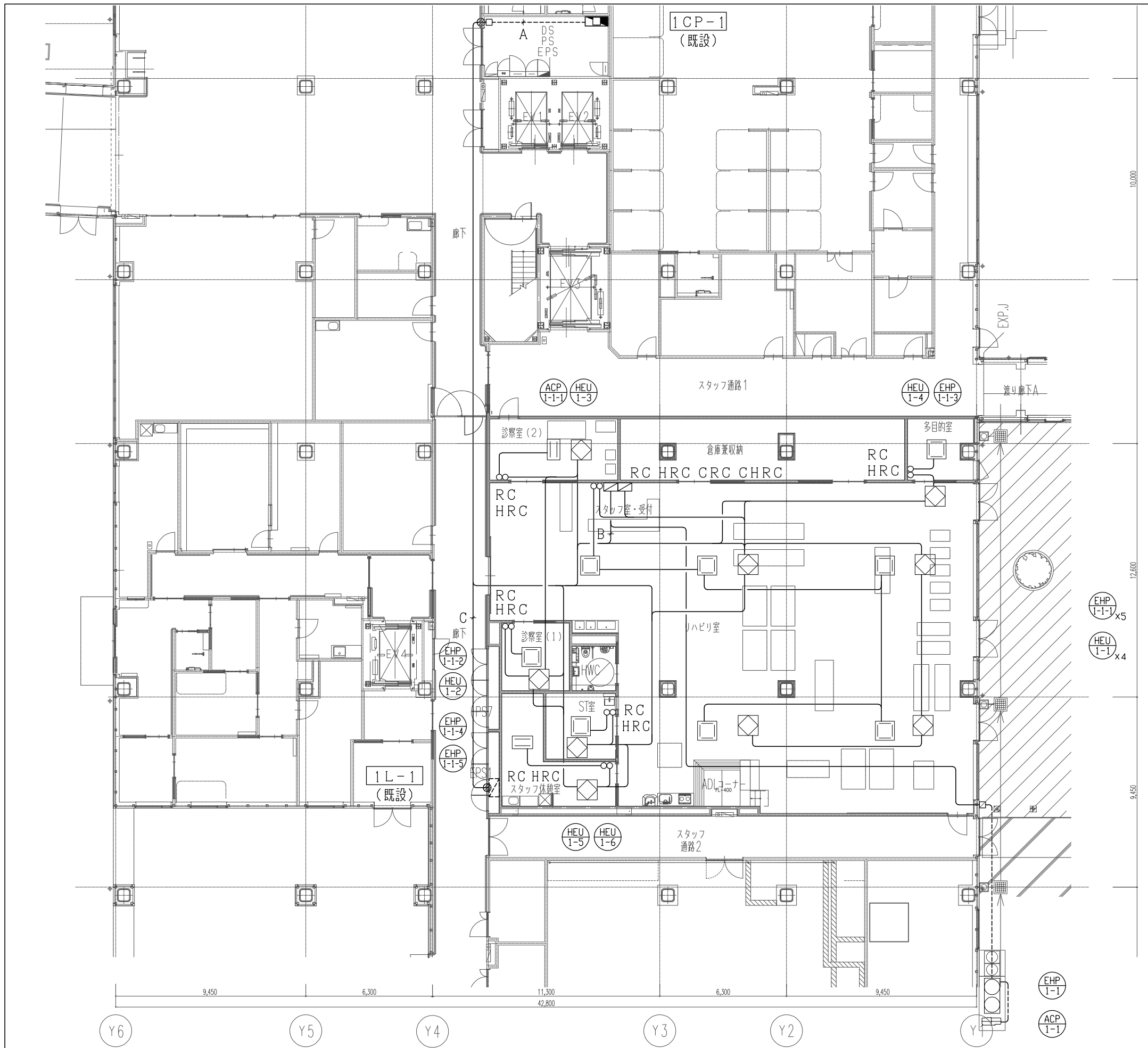
記号	名称	監視対象盤	リモートステーション	操作・監視		監視		計測		計量	備考
				操作	監視	状態	状態	温度	湿度		
FS-1-6	給気ファン 1階 倉庫	1P-1	1CP-1	1							
FE-1-6	排気ファン 1階 倉庫	1P-1	1CP-1		1						FS-1-6との連動は電気工事

撤去

中央監視点一覧表 (今回追加分)

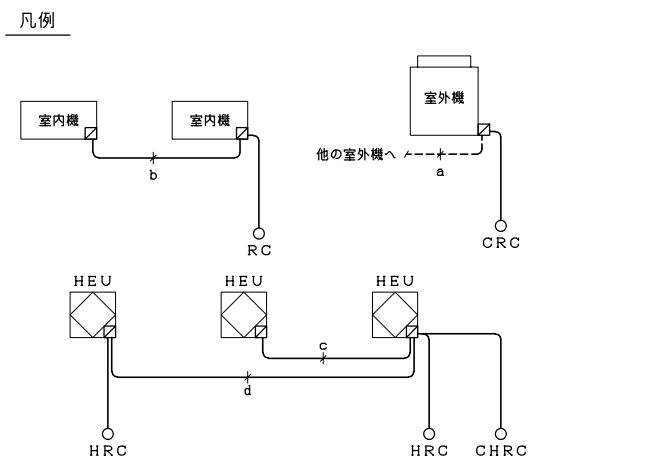
記号	名称	監視対象盤	リモートステーション	操作・監視		監視		計測		計量	備考
				操作	監視	状態	状態	温度	湿度		
HEU-1-1	全熱交換機 1階 リハビリ室	HEU-1-1	1CP-1			1					
HEU-1-2	全熱交換器 1階 診察室(1)	HEU-1-2	1CP-1			1					
HEU-1-3	全熱交換器 1階 診察室(2)	HEU-1-3	1CP-1			1					
HEU-1-4	全熱交換器 1階 多目的室	HEU-1-4	1CP-1			1					
HEU-1-5	全熱交換器 1階 ST室	HEU-1-5	1CP-1			1					
HEU-1-6	全熱交換器 1階 スタッフ休憩室	HEU-1-6	1CP-1			1					
FE-1-1 (1相)	排気ファン 1階 倉庫兼収納	既設1L-1	1CP-1	1							
合計						1	6				Total 7点

- 〈注記〉
1. 左記中央監視点の撤去・新設に伴い以下の工事を行う。
 1. 既設中央監視ソフト改造
 - a. 中央監視データベースの変更
 - b. グラフィック画面追加
 2. 左記中央監視点における中央監視対向試験
 3. 左記中央監視点撤去・追加に伴う自動制御盤 (1CP-1) の改造
 4. 左記中央監視点追加に伴う監視線の配管配線工事

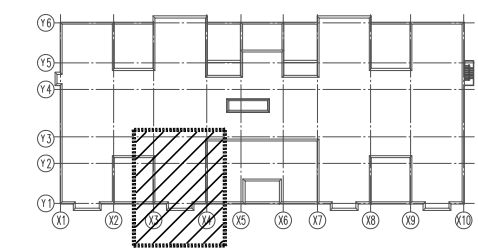


凡例

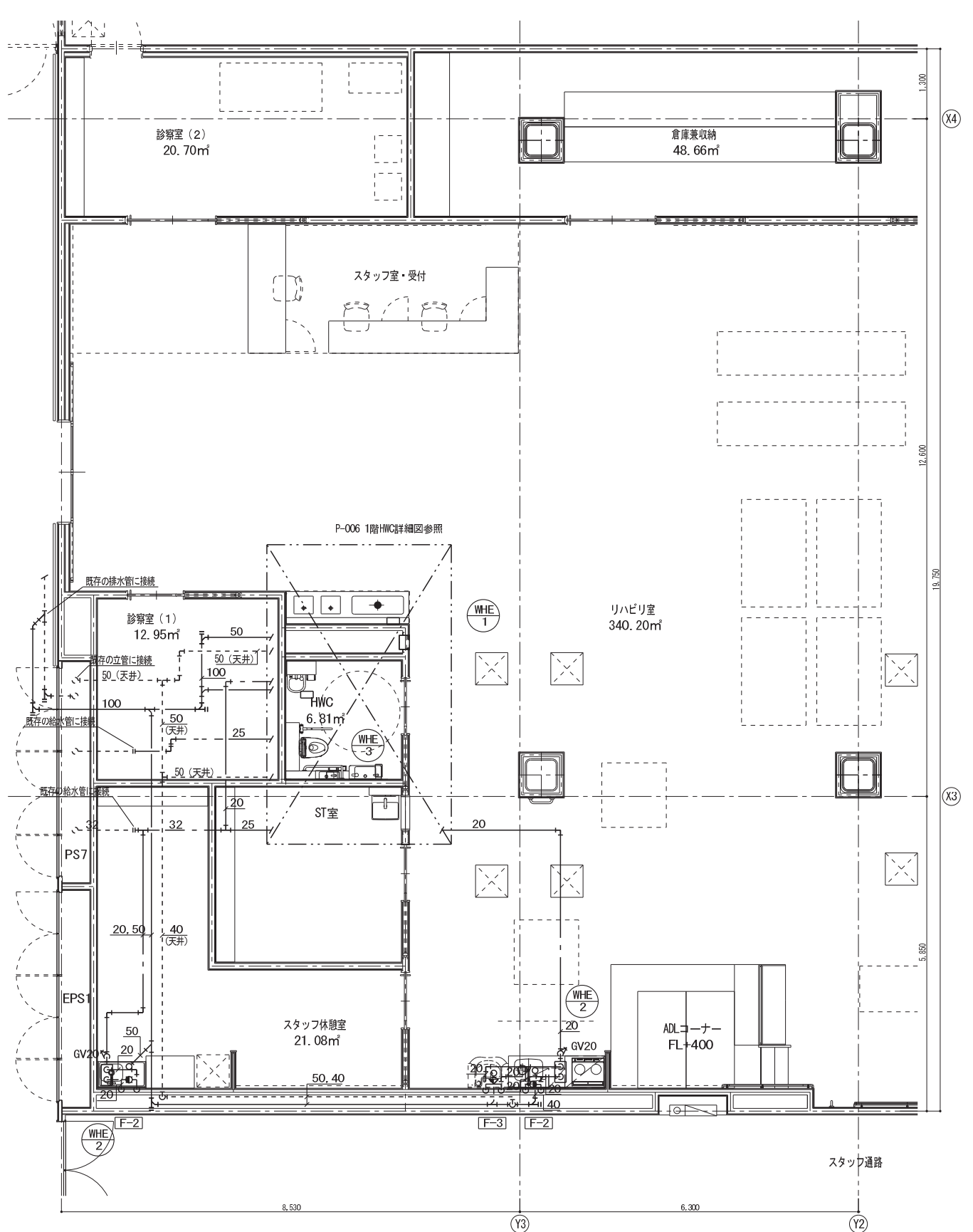
シンボル	記号	配線	配管	管内外	備考
○	RC	EM-CEES1, 250-2C	(PF22)	屋内	天井内コログシ
○	HRC	EM-CEES1, 250-2C	(PF22)	屋内	天井内コログシ
◻	CRC	EM-CEES1, 250-2C	(PF22)	屋内	天井内コログシ
◻	CHRC	EM-CEES1, 250-2C	(PF22)	屋内	天井内コログシ



- a- EM-CEES1, 250-2C (22) パッケージ集中リモコン渡り線
 - b- EM-CEES1, 250-2C (コログシ) 室内機連動線
 - c- EM-CEES1, 250-2C (コログシ) HEU連動線
 - d- EM-CEES1, 250-2C (コログシ) HEU集中リモコン渡り線
-
- A- LANケーブル (E51) CRC通信線 個別監視線X7
 - EM-FCPEE0, 9-3PX7
 - B- LANケーブル (コログシ) CRC通信線
 - C- EM-FCPEE0, 9-3P (コログシ) 1L-1 個別監視線



【注記】
 ◎部分は、壁貫通処理箇所を示す。

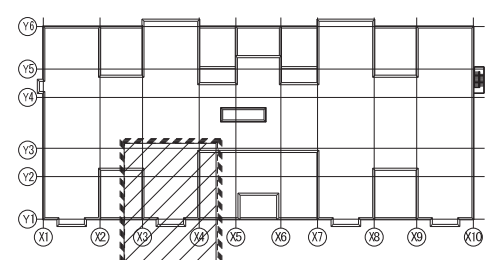


衛生機器表

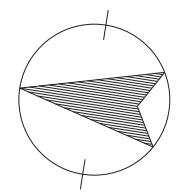
記号	名称	台数	仕様	動力		起動	設置場所	備考
				kW	φ			
WHE-1	電気温水器	1	形式 : 貯湯式電気温水器 手洗い用 (台下置形) 貯湯量 : 20 L 付属品 : 週間タイマー、空焚き防止機能、減圧弁、過し弁、過昇温防止機能、消電ブレーカー、膨張水排出装置、自動給排水機能	2.0	1	200	LS	階 リハビリ室
WHE-2	電気温水器	2	形式 : 貯湯式電気温水器 手洗い用 (台下置形) 貯湯量 : 12 L 付属品 : 週間タイマー、空焚き防止機能、減圧弁、過し弁、過昇温防止機能、消電ブレーカー、膨張水排出装置、自動給排水機能	1.5	1	200	LS	階 リハビリ室 階 スタッフ休憩室
WHE-3	電気温水器	1	形式 : 貯湯式電気温水器 手洗い用 (台下置形) 貯湯量 : 3 L 付属品 : 週間タイマー、空焚き防止機能、減圧弁、過し弁、過昇温防止機能、消電ブレーカー、膨張水排出装置、自動給排水機能	0.6	1	100	LS	1階 HWC (手洗器)

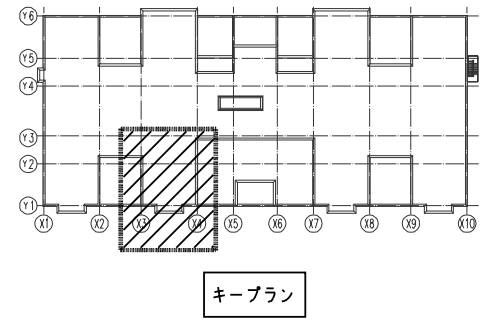
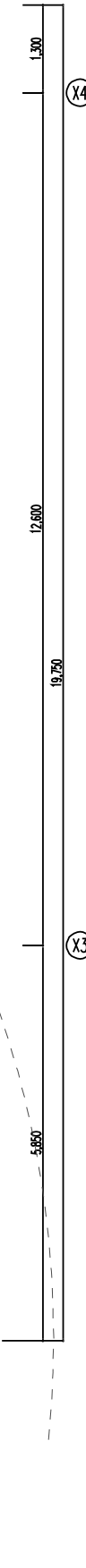
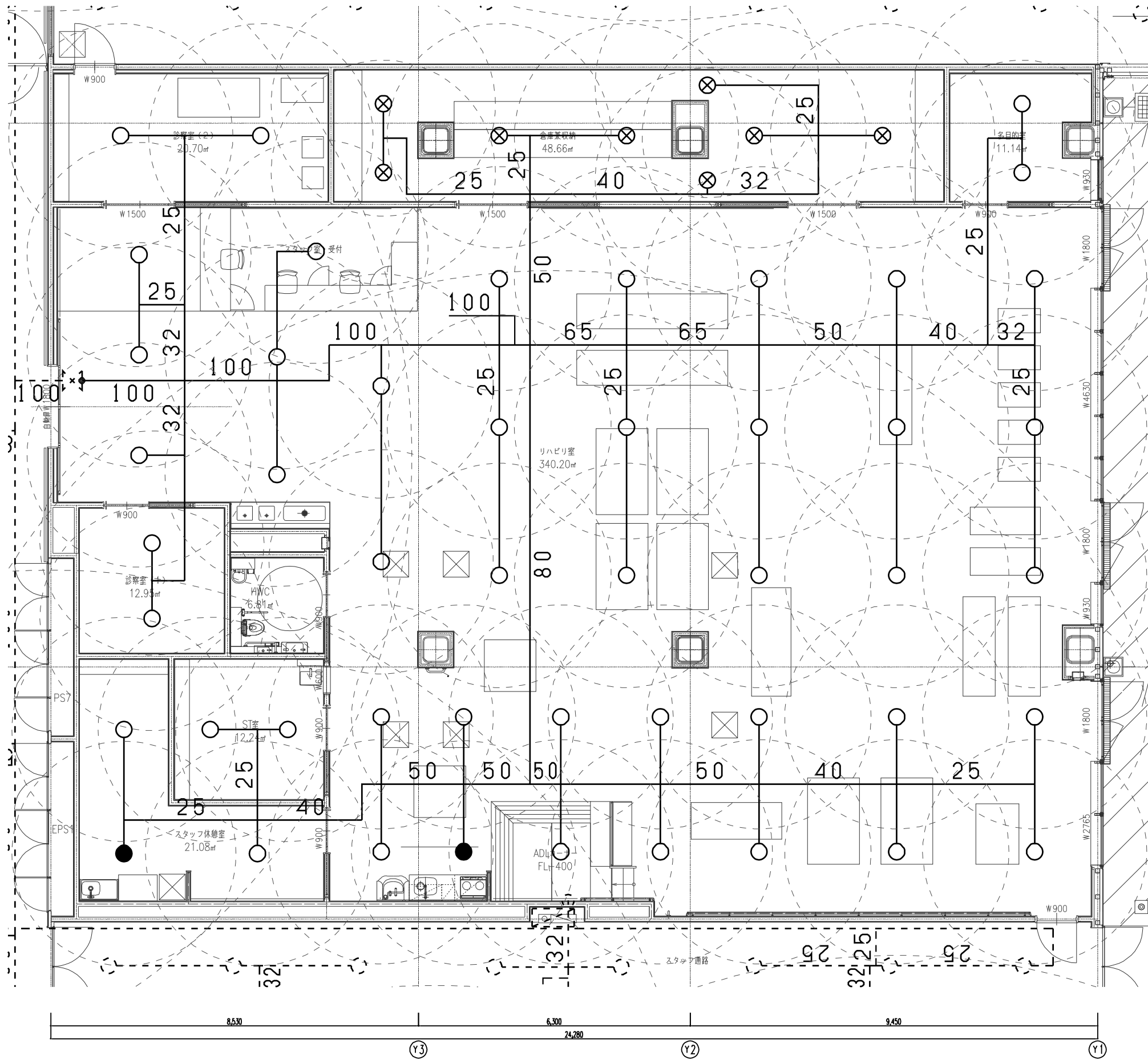
衛生器具表

器具NO	器具名称	器具仕様	参考型番 (TOTO)	参考型番 (LIXIL)	小計	1階			
						リハビリ室	HWC	ST室	スタッフ休憩室
F-1	自動水栓	自動水栓 (水のみ) 連続吐水スイッチ付	TEN47A	NI-301V1	1			1	
F-2	手動水栓	手動水栓 (水・湯)	TKS0303J	JF-AB46SYXA(LN)	2	1			1
F-3	OT化粧台	OT化粧台 (昇降機能付) 自動水栓 1面鏡	LDSML090SSYM1G LMSL090S1GG1G	該当なし	1	1			
F-4	自動水栓	自動水栓 (水・湯) 連続吐水スイッチ付 AC100V	TEN67G1	NI-311TV1	3	3			
C-1	多機能トイレバック	自動水栓 AC100V 0.6W 便器洗浄ユニット AC100V 30W 電気温水器 (洗面器) AC100V 505W 温水洗浄便座	LDXK01L2A1AND1WA	FTW-G2103L2A1ANNW、CF-11B	1		1		
C-2	コンパクトオストメイトバック	オストメイト用シャワー水栓 (水・湯) 電気温水器 (汚物流し) AC100V 600W	UAS2LDE1N#M11、UTR141	FTOM-E210W-C、PTOM-ESGR	1		1		



キープラン



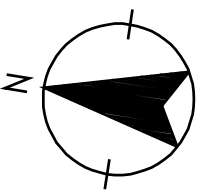


凡例

記号	名称
	補助散水柱
	スプリンクラーヘッド 72℃ (1種 r=2, 6)
	スプリンクラーヘッド 98℃ (1種 r=2, 6)
	スプリンクラーヘッド 72℃ (1種 r=2, 6) 保護カバー付
	仕切弁
	スプリンクラー管 (閉鎖)

特記

- ◇ 破線の配管・機器類は既設を示す。
- ◇ 実線の配管・機器類は新設を示す。
- ◇ ○ ● --- 既設配管に接続箇所を示す。
- ◇ 既設配管とのメイン管接続箇所は現場での再確認を必要とする。
- ◇ スプリンクラーヘッドは別途工事とする。



医療ガス設備特記仕様書

1. 設備概要

1-1 酸素供給設備	酸素の供給は、既設採用酸素バルブより延長し、これより図示された各部屋のアウトレットへ配管により供給を行なう。 供給圧力は既設酸素配管と同圧力とする。
1-2 吸引供給設備	吸引の供給は、既設採用吸引バルブから延長し、これより図示された各部屋のアウトレットへ配管により供給を行なう。 供給圧力は既設吸引配管と同圧力とする。
1-3 アウトレット (配管端末器)	1) アウトレットバルブと導入接手はガス別特定とし、定められたガス以外の接続は出来ない構造とする。 2) バルブ本体にはガスの種類により色分けされ、導入接手には個々のメンテナンスのためのストップバルブを備えた構造とする。 3) 酸素・吸引のガス別特定方式はピン方式とする。 4) 壁付アウトレットの取付高さは、手術室はFL+1,500mm、その他はFL+1,400mm(器具芯)を標準とする。
1-4 シャットオフバルブ (区域遮断弁)	1) メインシャットオフバルブは、ガスライン別の主配管に設け、緊急時にガスの送気を遮断出来るものとする。 2) 区域別シャットオフバルブは、各階の系統別に設け、緊急時にガスの送気を遮断出来るものとする。 区域別シャットオフバルブの設置場所は、施設関係者以外の者が容易に操作しにくい場所とする。 3) バルブは、禁油したボールバルブを使用し、区域用のものは取付高さFL+1,500mm(バルブ芯)を標準とする。 4) 各シャットオフバルブは、非常時においてバルブの操作が迅速にガスを遮断でき、外部からバルブの開閉状態が容易に見分けられる構造とする。また、ガス名、識別色及び制御区域を示す文字をカバー表面に表示する。

2. 配管工事

2-1 配管材料

ガス名称	配管仕様	継手仕様	備考
酸素	鋼管リン酸鉄鋼継目無管 (JIS H 3300 C 1220)のLタイプとする。	左記の鋼管による形成品又は JIS H 3401の加工品とする。	鋼管の異種金属に対する 保護として塩ビ管又は防 蝕テープを使用する。 支持金具と鋼管が直接接触 しない様、鋼管用金具 を使用する。
吸引	ガス別に着色を施された熱収 縮性合成樹脂チューブ被覆鋼 管とする。		

2-2 配管の識別表示

配管	酸素	吸引
識別色	緑	黒

2-3 配管の支持間隔

- 呼径20mm 未満 1.5m 呼径20mm以上、50mm以下 2.0m 呼径65mm以上3.0m 曲部及び分岐箇所は、0.5m以内とする。
1) 共用架台で支持及び固定する場合の部材は、50mm以下の場合形鋼L-30×30×3t、50mmを超える場合は形鋼L-65×65×6tとする。
2) 最大振れ止め支持間隔は、65mm以上から6mとし、50mm以下及び吊棒長さが300mm未満の場合、配管の振れ止め支持は不要とする。

2-4 配管の施工

- 壁取付け器具への立ち下げ配管は、酸素・吸引はφ10とする。
- 壁埋込み配管の保護は軽量鉄骨壁内では防食テープ又はPF管で防食保護する。保護する範囲は、壁内の全長+50mm以上とする。躯体壁内はPF管で防食保護する。
- カラーパイプを溶接接合するために被覆を削り取る部分の長さは、500mm以内とする。
なお、接合後は、露出部分は指定色の塗装を行い、隠れ部分の500mm以上被覆を削り取った部分は識別テープでもよい。
- 配管の溶接作業は、酸化防止措置として配管内に不活性ガス(窒素ガス)を通しながら行なう事。
- 既存配管の切り込みは、最初に小さな切り込みを入れて圧力が完全に抜けていて誤断のないことを確認した後に進行。
- 配管設備を増設する場合は、既存配管に接続するまでに、接続部の気密試験を除去すべての試験を実施した後に接続する。

2-5 検査・試験

ガス名称	試験用ガス	配管気密試験		試験用ガス	総合気密試験	
		試験圧力	保持時間		試験圧力	保持時間
酸素	窒素又は	1.0MPa	24 時間	窒素又は	0.4MPa	24 時間
吸引	清浄空気	0.5MPa	2 時間	清浄空気	0.1MPa	2 時間

- 配管工事終了後、系統試験を行ない、配管に異常の無い事を確認の上配管気密試験を行なう事。
- 排気管を除く鋼配管は、配管気密試験完了後、器具取付け前に清浄空気又は窒素ガスを放出して管内の清掃を行い、異物、ごみ、塵埃等を十分に除去する。
- 総合気密試験は、端末の器具全ての取付終了後に行ない、配管及び器具に異常の無い事を確認の上作動試験を行なう事。
- アウトレット清浄度検査の方法は、酸素・笑気・治療用空気・窒素についてテスト用アダプタプラグにより、60~150 ℓ / minで15秒間、直径50mm細孔10μm のフィルターにガスを吹き付け、フィルターに目視で確認できる微粒子の無いこと。
検査箇所数は各区域別シャットオフバルブの区域ごとに最も配管経路が長いアウトレット1箇所を測定する。
- 既存配管との接合は、1系統ごとに行い、施工後ガス別の系統確認を行う。
- 既存配管へ接続後及び気密試験後は、異ガスの混入を防止するために実際使用するガス(以下「実ガス」という。)以外を封入してはならない。
- 接続部の気密試験は、吸引及び麻酔ガス排除を除く配管で標準送気圧力での検知液による発泡漏れ試験とし、吸引配管は種を吸い込ませる吸煙試験とする。

2-6 検査・試験の順序

- (1) 配管外観検査 (2) 配管系統検査 (3) 配管気密試験 (4) 配管内清浄度検査 (5) 器具外観検査
(6) 総合気密試験 (7) 区域別遮断弁作動確認(8) 作動及び性能検査 (9) 竣工検査
検査・試験は区域ごとに行ってもよいが各検査・試験を合格せず、次の検査・試験を行ってはならない。
検査不合格の場合、手直し後は必要な検査・試験まで戻って実施する。
作動及び性能検査時のガスは実ガスを使用する。

2-7 完工検査

竣工引渡し後、すべての系統の配管設備が試験用ガスから当該施設が使用するべく用意された実ガスに置き換えられ、使用可能な状態となったときで、かつ使用開始前に行う。検査に当たっては、当該施設の医療ガス安全・管理委員会の代表又はそれに準ずる者が立ち会い、臨床使用時の安全性を確認する。この時のポンプ及び置換作業は本工事に含まない。

壁付アウトレット(埋込型)

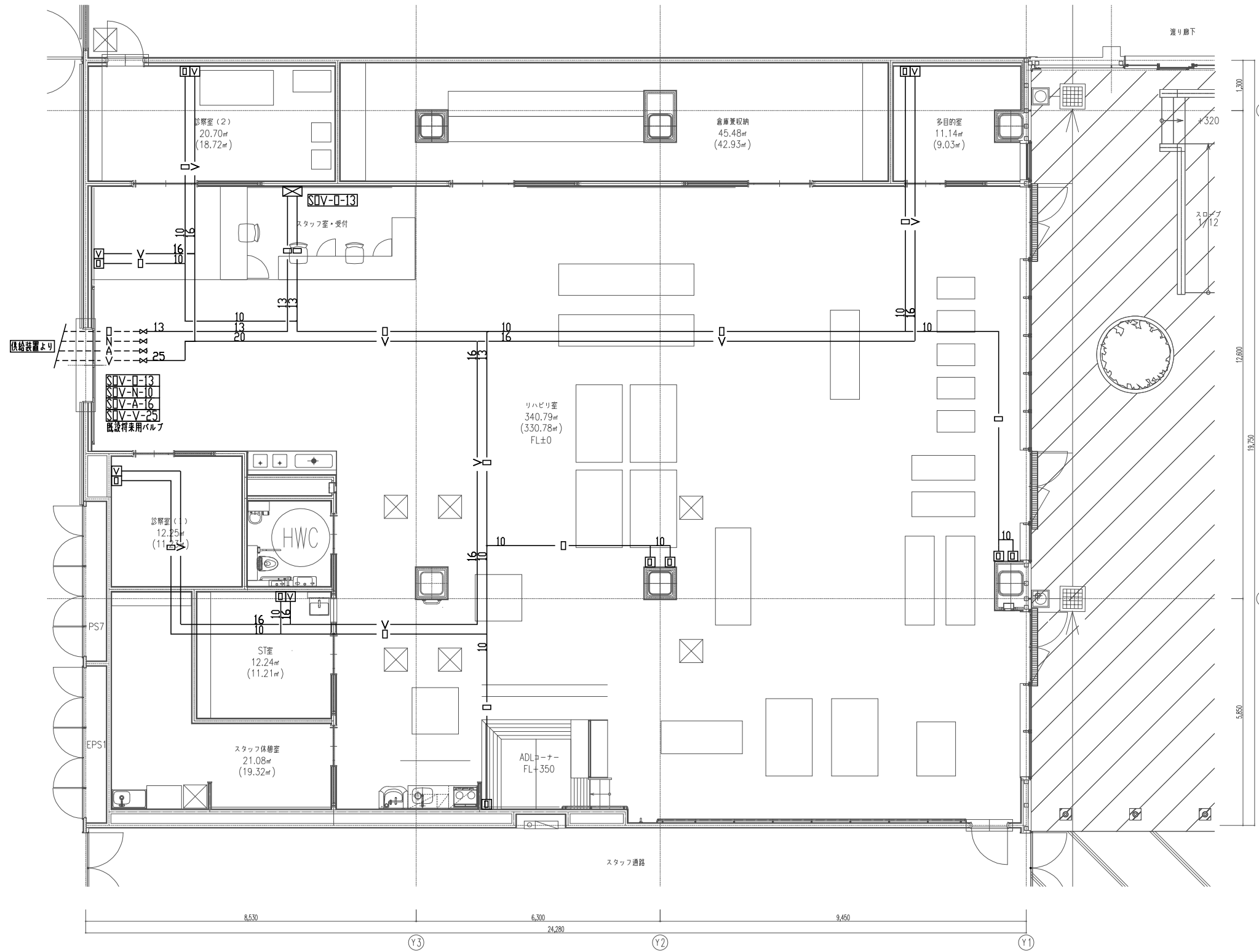
図号	名称
1	バルブ芯
2	ネームプレート
3	スライドベース
4	バルブプレート
5	スライドベースプレート
6	スライドカバー
7	化粧枠
8	スベークーE
9	銅管
10	ボックス
11	新巻ゴム

S=1/5

シャットオフバルブ (埋込型)(区域表示タイプ)

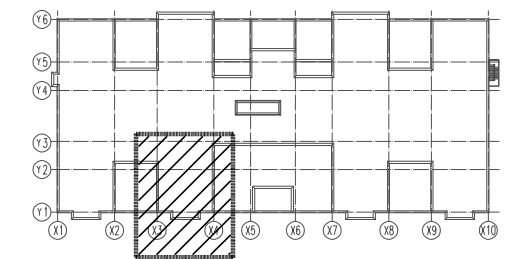
図号	名称
1	ボックス
2	銅管

S=1/5

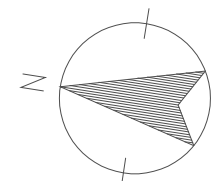


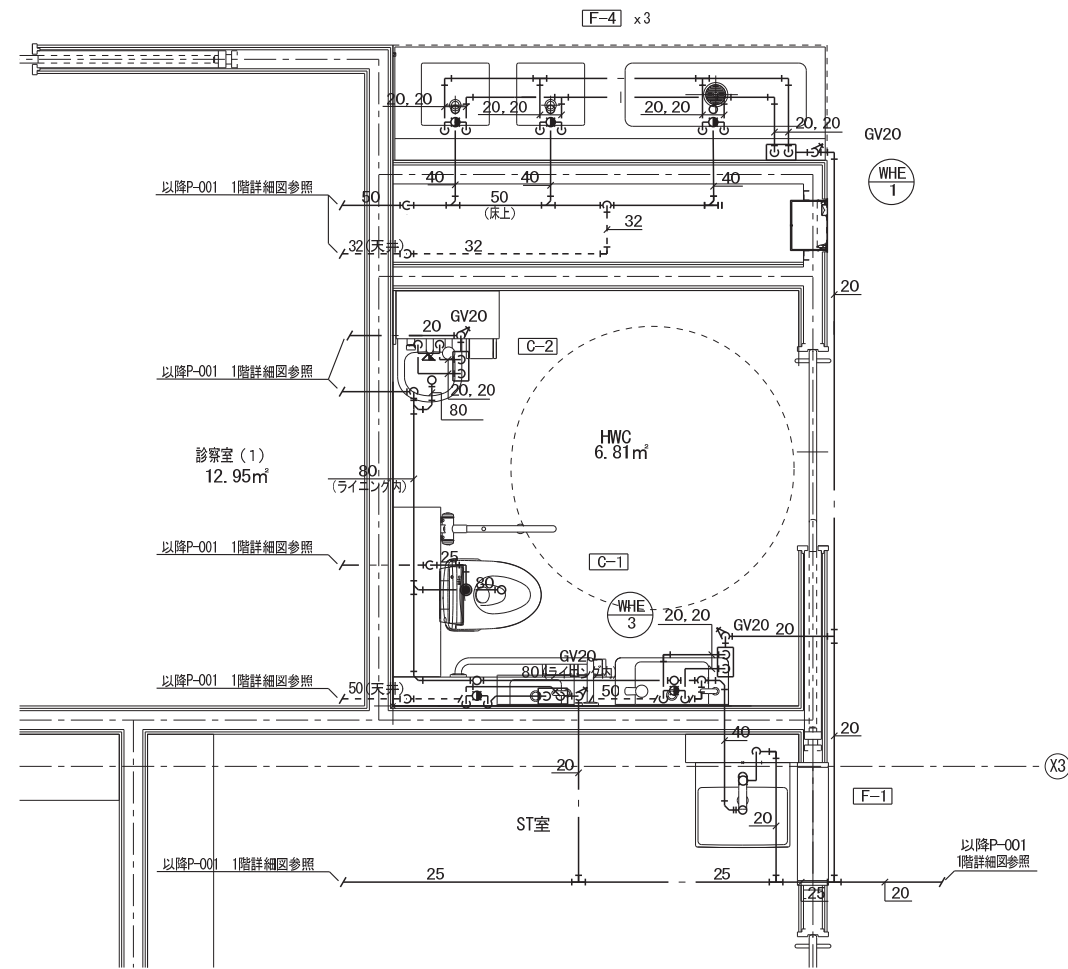
凡例

記号	名称	状態
—□—	酸素配管ライン	(新設)
—V—	吸引配管ライン	(新設)
□	酸素壁付アウトレット	(新設)
▽	吸引壁付アウトレット	(新設)
⊗	シャットオフバルブ	(新設)
---□---	酸素配管ライン	(既設)
---N---	笑気配管ライン	(既設)
---A---	空気配管ライン	(既設)
---V---	吸引配管ライン	(既設)



キープラン





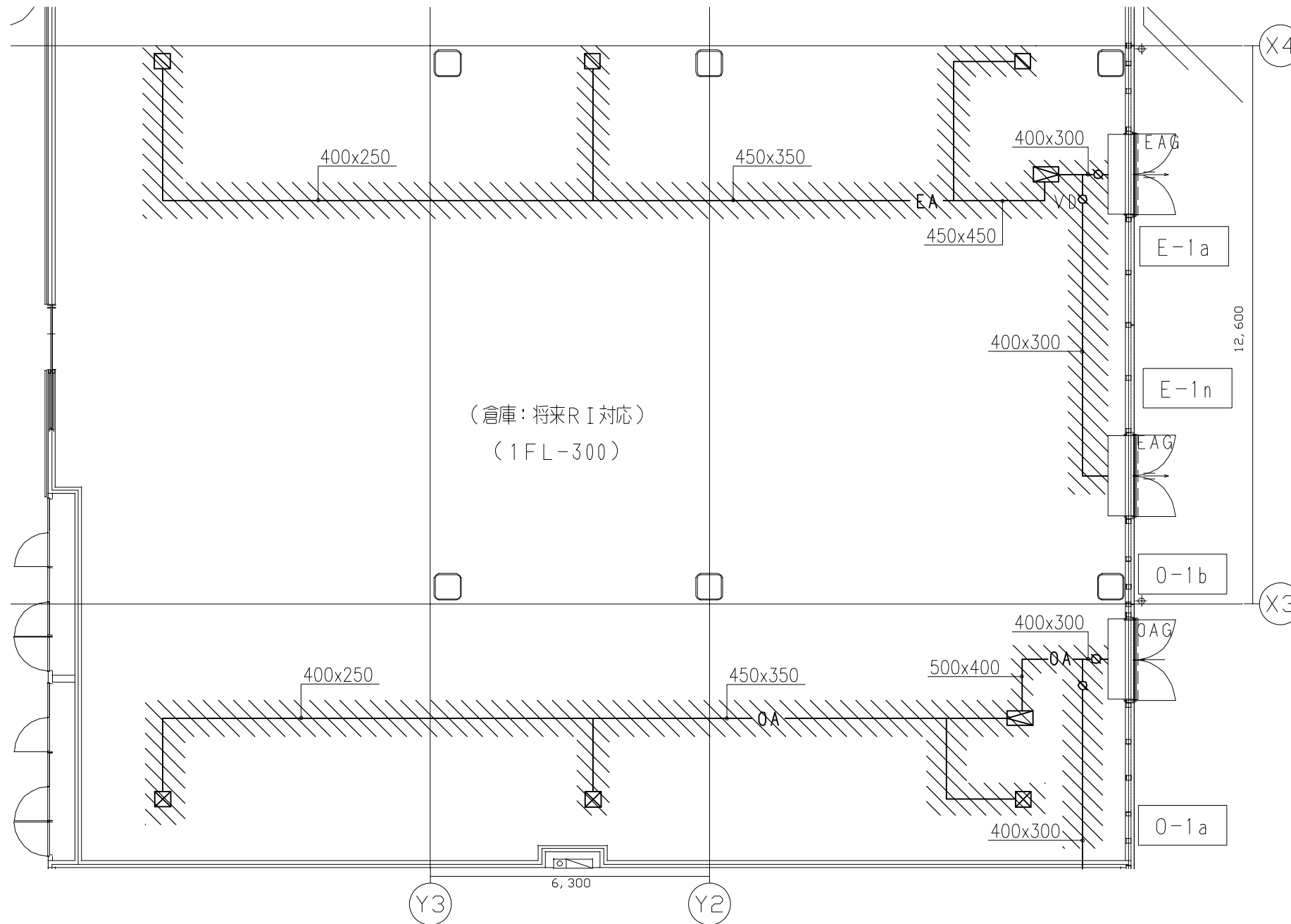
			株式会社 内藤建築事務所		地方独立行政法人埼玉県立病院機構		図番	
地方独立行政法人埼玉県立病院機構			東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小倉 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都知事登録 第52519号		工事名 22 循環器・呼吸器病センター新館棟リハビリ訓練室移転改修工事		P-006	

送・排風機機器表(撤去)

機器番号	換気機器			台数	能力						電源			付属品(他標準品)				中央監視	設置又は据付	設置場所		備考	
	機器名	系統名			型式	番手	口径	風量	静圧	交換効率	その他	相	電圧	kW	24時間	リモコン	フィルター			ベンチレーター	階		名称
		階	名称																				
FE-1-6	排気ファン	1	倉庫	片吸込シロッコファン	1	2	4,500	160	-		3	200	2.2					○	天吊露出1倉庫		ラトル機 CLF6-NO.2-RS-KI-e		
FS-1-6	給気ファン	1	倉庫	片吸込シロッコファン	1	2	4,500	170	-		3	200	2.2					○	天吊露出1倉庫		ラトル機 CLF6-NO.2-RS-KI-e		

制気口リスト(撤去)

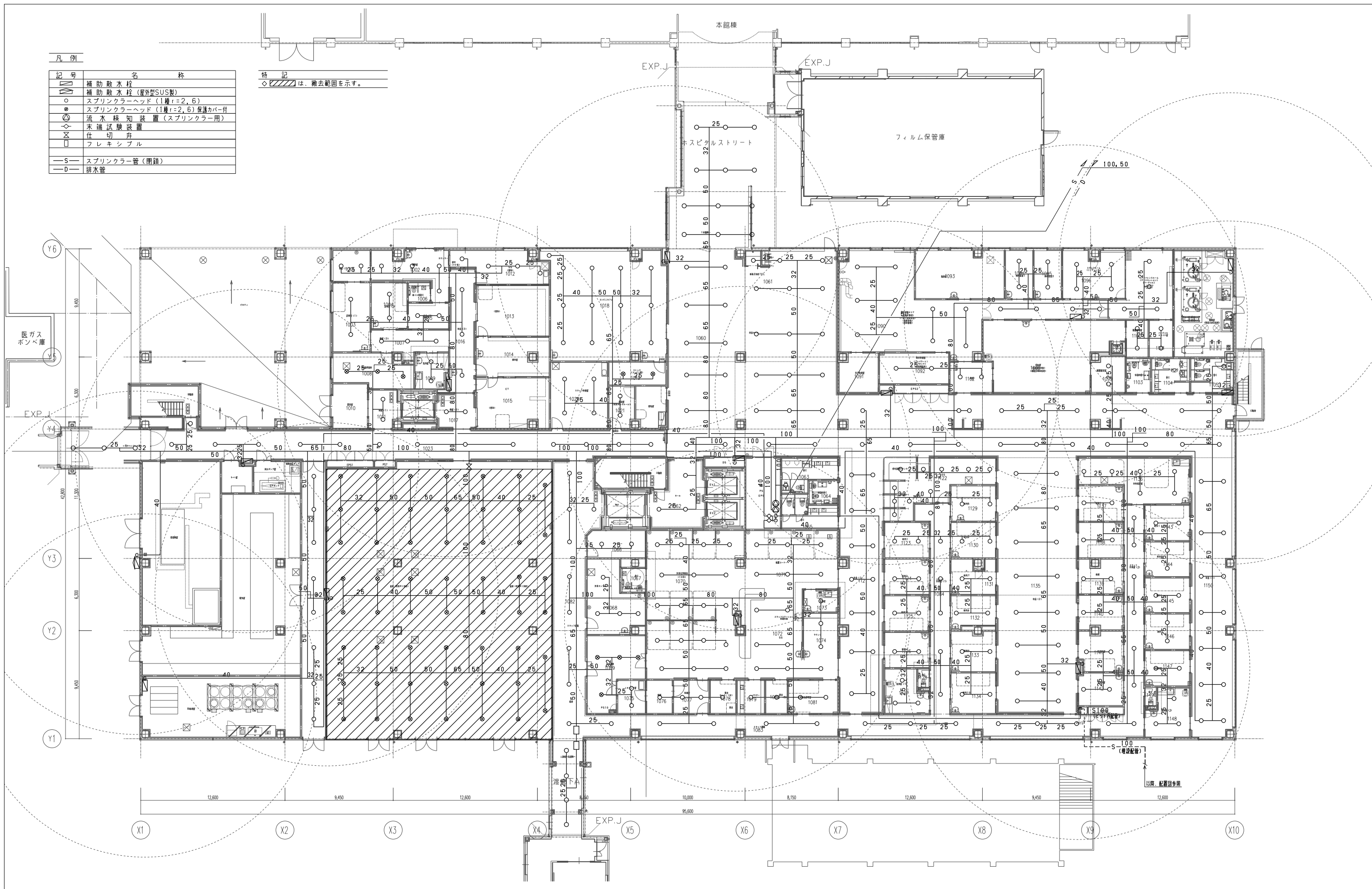
階	室名	系統	形式	材質		寸法			種別				吹出口	吸込口	総風量	1層当たり風量	個数	制気口ボックス			内貼	備考
				標準	SUS	塩ビ	L	x	W	空調	換気	バス						SA	OA	RA		
1F	【1階 廊下(西側)系統】																					
	1SW-23 倉庫(将来RI対応)	FS-1-6	VHS			550	x	550	○				○		4,500	1,500	3	650	650	300	○	-
	1SW-23 倉庫(将来RI対応)	FE-1-6	GVS			550	x	550	○				○	4,500	1,500	3	650	650	300	○	-	



注記
 //は、撤去範囲を示す。

記号	名称
	補助散水栓
	補助散水栓(屋外型SUS製)
	スプリンクラーヘッド(1階 r=2, 6)
	スプリンクラーヘッド(1階 r=2, 6)保護カバー付
	流水検知装置(スプリンクラー用)
	末端試験装置
	仕切弁
	フレキシブル
	スプリンクラー管(閉鎖)
	排水管

特記
 は、撤去範囲を示す。



地方独立行政法人埼玉県立病院機構 22 循環器・呼吸器病センター新館棟リハビリ訓練室移転改修工事 消火設備 1階平面図(撤去)		株式会社 内藤建築事務所 東京都中央区八丁堀3-12-8 一級建築士 小宮 謙二 第272507 一級建築士事務所 東京都中央区 第3251号		図番 PK-001
		縮尺 A1:1/150 A3:1/300	設計日	